

北極星

岡山県立岡山操山高等学校
第1学年 学年通信
第3号
平成21年5月13日

宿泊研修特集(その2)

前号に続いて、宿泊研修の2・3日目の様子をお伝えします。前号と同じく囲みは、生徒の感想です。

【4月23日(木)】

ポイント・オリエンテーリング

午前はポイント・オリエンテーリングが行われました。思ったほど気温も上がらず、コンディションは良かったのではないのでしょうか。地図を頼りに、道沿いや山の中にあるポイントに書いてあるアルファベットを解答用紙に書き込みながら、歩いてまわるという競技です。制限時間は1



時間45分で全部のポイント进行するのは厳しい設定で、どのような順路でいかに高得点のポイントを多く見つけることができるかが勝負の分かれ目でした。スタート地点から、右に行くチーム、左に行くチームとチームごとの作戦があったようです。満点は無理だろというのが教員団の大方の予想でしたが、満点が2チームも出ました。



・班員の地図を読める人が、みんなを先導してくれて、無事に帰ってこれたときは、大きな達成感があった。

・かなりきつく、山道は道と呼べないくらいとても険しく死にそうなくらい大変でした。

キャンプ・ファイヤー

午後は、夜のキャンプファイヤーに向けて、クラス単位で校歌の三部合唱とスタンツの練習を行いました。各クラスとも少ない時間のなかで、意見を出し合いながら練習をしていました。





さあ夜はいよいよ本番です。第1部は、火の神が火を運び入れて開始されました。その火は営火長からクラス代表へと引き継がれ、その際クラス代表は「誓いの言葉」を述べました。

第2部は、昼間の練習の成果を発揮する、各クラスによる校歌の三部合唱とスタンツの発表の時間です。校歌は直前にくじ

を引いて、何番を歌うかが決められました。各クラス入場・退場も含めて7分以内で、合唱とスタンツを行うという条件がっていました。これは、2年次の文化祭ステージ発表や、3年次の体育祭グランド演技と同じルールでした。はやくもそのルールを体験することになったのでした。



- ・寒かったが、各クラスの熱いスタンツで寒い夜を乗り越えた。
- ・どのスタンツも各クラスの個性が溢れていた。
- ・短い時間でよくここまで仕上げたと思うクラスがたくさんあった。
- ・本番で味わった快感は、実際にやり抜いた者だけに与えられた宝物であろう。とにかく、確かなことは皆で楽しんだということだ。

【4月24日(金)】

野外炊事

最終日は、野外炊事(ポークカレー)を行い、私(丸山)は1組と同じ場所で教員分4人前を担当しました。薪割りから始まり(初めてだった人もいるようでした)火おこし・炊飯・肉野菜の調理といろいろな活動が含まれていました。火おこしなどは特に苦戦が予想されましたが、意外にスムーズに火がおきて、想定外の順調さに驚きました。カレーの調理法も様々で、肉から炒める班もあれば、玉ねぎから炒める班や、肉を炒めた後いったん肉を鍋から出して、野菜を炒めるこだわり派の班など、それぞれに個性があって面白いと思いました。役割分担もしっかりできていたようで、1時間半ほどおいしいカレーが出来上がっていました。



裏へ続く

・火を起こすことから始まる野外炊事。決して楽とは言えないものだったけど、みんなで作ったカレーの味は最高だった。

・野外炊事の係になったので、リーダーとして動いた。しかし、班の人に助けをもらうことが多かった。しかも、他の人が何をしてくれているのかも分からないことがあった。仕事はできても、周囲に気を配ることができなかったと思う。この研修で、リーダーとフォローする側の関係がとても大切だと思った。また、リーダーはやっぱり大変だなと再認識した。

退所式

退所式では、この3日間の成果と課題について話しました。

「まず、成果です。集合時間については5分前集合がほぼできました。集合時間も得点化されるということがなくとも、これについては達成できていたものと信じています。3年間、学年集会の時間厳守を貫き通そう。

次にスタンツと校歌三部合唱です。短い準備期間で、これだけのものを作り上げた皆さんの力に可能性を感じました。



ここからは課題です。一つ目は食堂のマナーについてです。退席時の椅子の整頓などについて、一度注意がありました。その後は、できていたと思います。ただ、言われなくてもできるのがあるべき姿です。最後に挨拶の励行です。校内にいる時でも最も大きな課題です。操山高校では上級生になればなるほど、挨拶ができるようになります。ただ、3年生になるまで待つは必要ありません。今すぐにでも上級生に追いつけるよう、挨拶について意識を高めていこう。」

・(スタンツの準備の際)最初人とは違った自分の意見を言おうとした時は「私がこんな発言をしたことで、反対意見を言った人と仲が悪くなってしまうのだろうか」と不安な気持ちもあった。しかし、互いに意見をぶつけ合うことでよりよいものができることを実感できた。そして、反対意見や、意外な意見を言えるような雰囲気が入った。

・私たちのクラスの誓いは、“操山 Friendreamers”として、仲間と共に夢を実現させていくことである。仲間がいるから頑張れる。あの研修を終えた私たちなら、今、それが出来る気がする。

・今回の宿泊研修で身につけるべき力とは何か。しばし考えてみると、それが自分のスケジュール管理能力や先を考えて行動できる力だと気付いた。

・今回の研修は今まで経験したどの宿泊研修よりも楽しく充実したものだと思います。普段、あまり話すことのない「仲間」というテーマについて話し合えたことで、互いの意見を知り、共通の考えを持ってその後の活動に臨むことによって、より活発な活動ができ、達成感を味わうことができたのではないかと考えています。

・今、実際に研修後この教室で生活をしていて、やっぱりみんなの話し声が増えたなあと思います。

・(学校に帰ってから、他の班員から)班内反省の紙をもらって、みんなが自分のことを見てくれて、頼りにしてくれていることを実感しました。

学年通信のタイトル「北極星」について

ご存知のように、北極星は地球上から見てほとんど動かないという特徴から、旅をする者の道標となるものです。生徒にとって岡山操山高校の3年間で人生の道標となりうるように、また、本質を見失わずに普遍的な価値を追い求められるように、という願いを込めております。